

八尾の子どもたちが放射能汚染の危機にさらされています！

八尾市上尾町の焼却炉で放射性物質が燃やされます？！

現在、八尾市をはじめ大阪府全域の一般焼却炉で、放射性物質が付着した「震災がれき」を焼却し、焼却灰を大阪湾に埋め立てる計画があります。

大阪府の会議では、「がれき」を受け入れた際の「被曝量」まで計算されており、府民の被曝を前提にした計画がまとめられました。

各市町村が承諾すれば、今年の4月には「がれき」が運び込まれる予定です。

東京都ではすでに受け入れが始まり、焼却が始まると同時に、放射性物質の飛散と、風下の高濃度の土壌汚染が報告されています。(神戸大学大学院 山内知也教授)

放射能の被害を一番受けるのは、小さな子どもたちです。

子どもは放射線の感受性が強いため、低線量放射線による身体への影響は、30歳成人の5倍～10倍とされています。(京都大学 小出裕章助教)

特に問題なのは、焼却炉から飛散した放射性物質による周辺住民の内部被曝です。体の外からの被曝(外部被曝)に対し、呼吸や経口から体内に取り込まれる内部被曝は、放射線を体内から浴び続けることになるので、微量でも大変危険とされています。

なぜかマスコミは内部被曝の危険性を黙殺し、国や大阪府は軽視しています。

大阪府は、府民への説明会も拒否し、府民の内部被曝や環境汚染の不安に応えようとしません。

【八尾市民にできること】

大阪府は処理施設を持っていないため、各市町村が受け入れを拒否すれば、大阪府では受け入れが困難になります。(吹田や守口、寝屋川、四条畷、門真などは受け入れ拒否を表明)

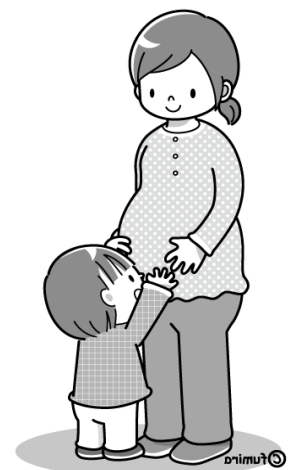
八尾市民にできることは、八尾市に「**がれき受入れ拒否**」の表明をしてもらうことです。その八尾市民の声を、橋下大阪市長の気持ちを変えることに繋げていかなければなりません。

“子どもたちを放射能から守る・八尾の会”は八尾市議会に対して**請願書を提出**(2/13)しました。

請願書が採択されるためには、皆さんの多くの署名が必要です。署名の方法や場所については、当会サイトをご覧ください。八尾市民の皆さん、子どもたちの未来を守るため、一緒に力を合わせて行動しましょう！

【被災地支援で出来ることは、ほかにも沢山あります！】

- ① 「がれき」を現地で安全な形で処理できるように各自治体が援助する。
(現地で雇用も生まれます)
- ② 被災地への安全な西日本産の食料等の物的支援をする。
- ③ 避難・移住を希望する被災者の受け入れを支援する。



八尾市がれき受入れ反対サイト “子どもたちを放射能から守る・八尾の会”

<http://savechildyao.blog.fc2.com/> ←署名用紙ダウンロードできます

email:1219nori@gmail.com 090-9118-6998 (松下・一児の父)